

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 28 年度期末）

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

(1) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (1-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (1-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (1-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	・ 地域課題の解決に向けてファシリテーション手法を用いた意見交換の場づくりや新規事業の見える化の取組は評価できる。 ・ 「コノハナのハナシ」などで、これまで地域活動にかかわりが少なかった住民参加促進の支援をしていることは評価できる。 ・ 会計処理や会議の進行、広報紙作成で自律的に運営できるよう日常的な支援ができています。 ・ 区独自取り組みの防災力の向上や広報の強化においても地活協の状況に合わせた適切な支援ができた。

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	・ 地活協発足後のコミュニティアンケートを実施し住民の意識調査を実施したことは評価できる。 ・ 地域からの信頼も厚く、相談や問い合わせにも適切に対応し、必要があれば適宜地域にも出向き支援できている。 ・ 区役所担当職員との連携についても問題ない。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価	左記の理由
B	・ 担い手確保のためのアンケートを実施し現状を把握し地域にフィードバックできたことは評価できる。 ・ 他区の防災訓練見学会はノウハウ取得やスキル向上に有効であった。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）：目標等の達成状況の評価

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・地域の活動や課題について活発に話し合うことや自律的な運営に対する支援などまちづくりセンターの支援が有効だと地域から高い支持を受けている。 ・会計事務の適正な執行について有効な支援を取っている。 ・地域課題や将来像の共有化などについて区と連携しての支援を期待する。

5 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理 (2)	A	・適切に地域課題の把握・分析・整理ができています。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	・適切に目標設定がされており、それに向けた戦略・シナリオが策定されている。
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	・区独自取り組みである防災等の支援についても地域の実情にあった適切な取り組みができています。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	B	・地域団体からの評価も高く信頼関係が構築されている。 ・地活協内部の連携や外部団体との協働が進んでいる地域も増えてきているが、成熟度の差も見られるため、実情に応じた支援を期待する。

(評価基準)

- S : 本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A : 本市の求める水準以上の効果が得られた
- B : おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C : 本市の求める水準の効果が得られていない